教科目名　世界史　(History of World)

学科名・学年　：　全学科　2 年
単位数など　：　必修　2 単位　（前期 1 コマ，後期 1 コマ，授業時間 46.5 時間）
担当教員　：　田中美穂

授業の概要

世界のさまざまな地域の古代から現代までの歴史を学ぶことを通して，広い教養や知識を身につけ，物事を多面的に考える力を養う．とくに，現在起こっている「世界の諸問題を考えるために歴史を学ぶ」という立場で授業を行う．世界各地の主要な宗教の起源，多様な国々や諸文化の成り立ち，世界各地の戦争や紛争の歴史を講義していく．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(A1)**

(1) 世界史の流れや基本的な用語を覚え，世界史に関する基礎学力を身につける．（定期試験）
(2) 過去とのつながりを尊重しつつ，現代を考える力を身につける．（定期試験）
(3) 歴史を学ぶことで，世界のさまざまな民族・宗教・国家の成立について理解する．（定期試験）
(4) 世界各地の多様な歴史を重視し，平和な世界をいかに築いていくべきかについて考える．（定期試験）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7 8	東アジアの文明 モンゴル帝国とインド オリエント文明とイスラーム ヨーロッパの文明 ユーラシアの交流 明と清 ルネサンス 大航海時代	○古代の東アジア，南アジア，西アジアの歴史について理解できる． ○前近代のヨーロッパの歴史について理解できる． ○キリスト教世界とイスラーム世界との関係について理解できる． ○東西文明の交流の歴史について理解できる．	【理解の度合い】
9	前期中間試験		【試験の点数】　　点
10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 アメリカの独立 フランス革命 産業革命 19 世紀のヨーロッパ 南北戦争	○ヨーロッパの近代主権国家の成立について理解できる． ○革命などを経て形成された欧米の近代市民社会について理解できる． ○欧米の工業化について理解できる． ○自由主義とナショナリズムの進展について理解できる．	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】　　点
	前期期末試験の解答と解説		
16 17 18 19 20 21 22	アジア諸国の植民地化 辛亥革命 帝国主義 第一次世界大戦 ヴェルサイユ体制 ファシズムの台頭 第二次世界大戦	○列強による帝国主義的な植民地支配の問題について理解できる． ○アジア諸地域と世界との関係について理解できる． ○アジア諸地域の近代化の動きについて理解できる． ○二度の世界大戦について理解できる．	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】　　点
24 25 26 27 28 29	後期中間試験の解答と解説 戦争の終結 冷戦の時代 ベトナム戦争 冷戦の終結 超大国アメリカの戦争 地球的課題	○現代史の流れが理解できる． ○資本主義圏と社会主義圏との関係について理解できる． ○多極化する世界の動きが理解できる． ○現在の世界の諸問題，ならびにそれらの解決への努力について理解できる．	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】　　点
	後期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	授業中にノートをきちんと取り，予習と復習をしっかりすること．	【総合達成度】
教科書	岡崎勝世ほか著，『明解　世界史 A』，帝国書院．	
参考図書	随時，授業中に紹介する．	
自学上の注意	授業で次回の範囲（頁数）を伝えるので，教科書を読んで予習しておく．	
関連科目	日本史，歴史学概説，歴史学特論Ⅰ・Ⅱ（専攻科）	
総合評価	達成目標の(1)～(4)について，計 4 回の定期試験の平均点によって評価する．出席状況・授業中の態度により 10%を上限として減点する．総合評価が 60 点以上を合格とする．4 回の定期試験の平均点が 40 点以上 60 点未満の者には再試験を行うことがある．この場合の実施方法，条件などは授業において明示する．	【総合評価】　　点